

資料6. ホームページ向け文書

■被災関連自殺ハイリスク者の実態とこころのケアのニーズ調査研究

本研究の意義

茨城県は、東日本大震災において24人の死亡者と14万世帯以上の住宅損壊被害を受けた、岩手・宮城・福島県につぐ第4の被災県です。そこで本県においても、被災者の心のケアが中長期的に重要です。復興の中長期においては、大多数の住民が被災の問題から立ち直る一方で、少数の被災者がむしろ精神疾患のハイリスクとなりますが、この実態の調査研究は多くありません。本県でも、沿岸被災市町村における自殺・精神障害のハイリスク者の中長期の被災ストレスの影響やニーズの把握などの実態調査は行われていません。

本研究の目的

本研究では、被災関連自殺ハイリスク者の実態とニーズを調査することにより、被災地の中長期のこころのケアの具体的な指針を得ることを目的に、県内精神科医療機関・保健所の通院・来談患者の実態と病歴調査、ならびに保健所等の聞き取り調査研究を実施いたします。このうち大学附属病院では、事務員、外来主治医、コメディカルの方向けのアンケート調査と、それに基づいた対象となる患者様の症状経過を主治医がカルテを参照しアンケートに答える個別アンケート調査を実施いたします。

研究の方法

対象: 2011年3月11日以降に当院精神神経科を受診された患者さんで、精神症状に震災ストレスの影響があると当科の主治医が判断した方です。

調査項目: そうした患者さんの数をまず病院事務、主治医、コメディカルにアンケート調査したうえ、該当する患者さんの年齢、性別、職業などの社会的属性と、診断、震災と症状経過の関連を主治医がカルテから調査し、集計します。県内の他の精神科医療機関、保健所にも同様の調査を行い、集計結果から県内の震災ストレスの精神疾患への影響とこころのケアのニーズを検討します。

研究機関・研究者名

筑波大学附属病院精神神経科准教授・太刀川 弘和と講師 高橋 晶がこの研究を行います。

個人情報に関する利用目的

本研究で取り扱う個人情報は集計し、本研究の解析目的にのみ使用し、それ以外には使いません。

個人情報の開示手続きおよびお問い合わせ

本研究に関する問い合わせがございましたら、筑波大学医学医療系精神医学までご連絡くださいますようお願いいたします。(筑波大学医学医療系精神医学 電話: 029-853-3182 (平日10:00-16:00))